

多読レベル1

おじいさんとおばあさんはお金^{かね}がありません。お正月のおもちもかえません。

でも、お正月の朝^{しょうがつ あさ} 家^{いえ}の前^{まえ}を見ておどろきました。

だれが・・・？

どうして・・・？



昔話1

もく て き わ か し ば な し よ
目的：昔話を読む

「かざりざう」

指導者の皆さんへ

📖 ジャボラ NPO リライト本の目的

- ① 多読による、学習者の自己学習の推進
- ② 外国人が理解しにくい日本人の心情や考え方、
日本文化を学んでもらう

📖 『多読表』を書こう

- これは、学習者の振り返り記録です。（ポートフォリオ）別紙
- ① 何冊読んだのか（多読）記録します。
- ② おもしろさを三段階で評価します。（😊 😐 😞）
- ③ 感想のひとこと書きができます。

多読表

【○ぜんぶよんだ △ぜんぶよまなかった】

【😊おもしろかった 😐まあまあ 😞あまりおもしろくなかった】

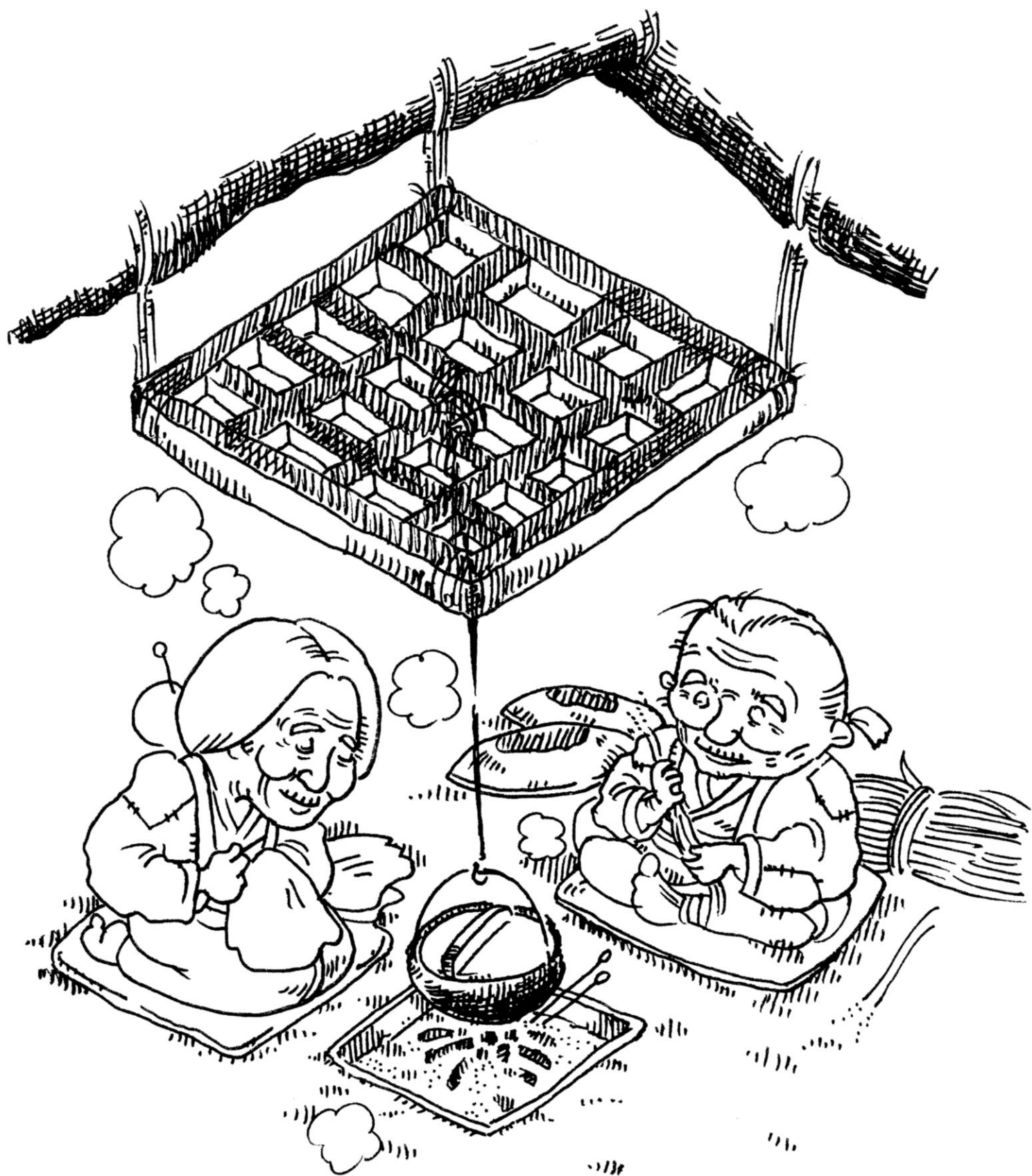
レベル	Vol	タイトル	なんがつ なんにち 何月 何日	○△	かんそう 感想	😊 😐 😞
ジャボラ オリジナル	0	「いれて」				
	0	「わすれもの」				
	1	かさじぞう 笠地蔵				
	1	したき すずめ 舌切り雀				
	2	あした せんぞく 明日は遠足				
	2	かあ お母さんヘンシン ～わたしは、じかん とき 時間を守るわよ！				
	2	いな 稲むらの火				
	2	しょうじき ごへ え 正直五兵衛				

おかしおかし、あるところに、

おじいさんとおばあさんがいました。

明日^{あした}は一月^{いちがつ}一日^{ついたち}、お正月^{しょうがつ}です。

二人^{ふたり}はお金^{かね}がありません。



「おじいさん、お餅^{もち}が食^たべたいですね。」とおばあさんが言いました。

「おばあさん、笠^{かさ}を作^{つく}りましょう。その傘^{かさ}を売^うりましょう。」

それから、おじいさんとおばあさんは笠^{かさ}を作^{つく}りました。

「おばあさん、町^{まち}で笠^{かさ}を売^うります。そして、町^{まち}で餅^{もち}と野菜^{やさい}を買^かいます。」

おじいさんは、五^いつの笠^{かさ}と一緒に^{いっしょ}町^{まち}へ行^いきました。



じゅうにがつさんじゅういちにち
十二月三十一日の町は、人がたくさんいました。

おじいさんは、町で笠を売ります。

「笠を買いませんか。笠を買いませんか。」

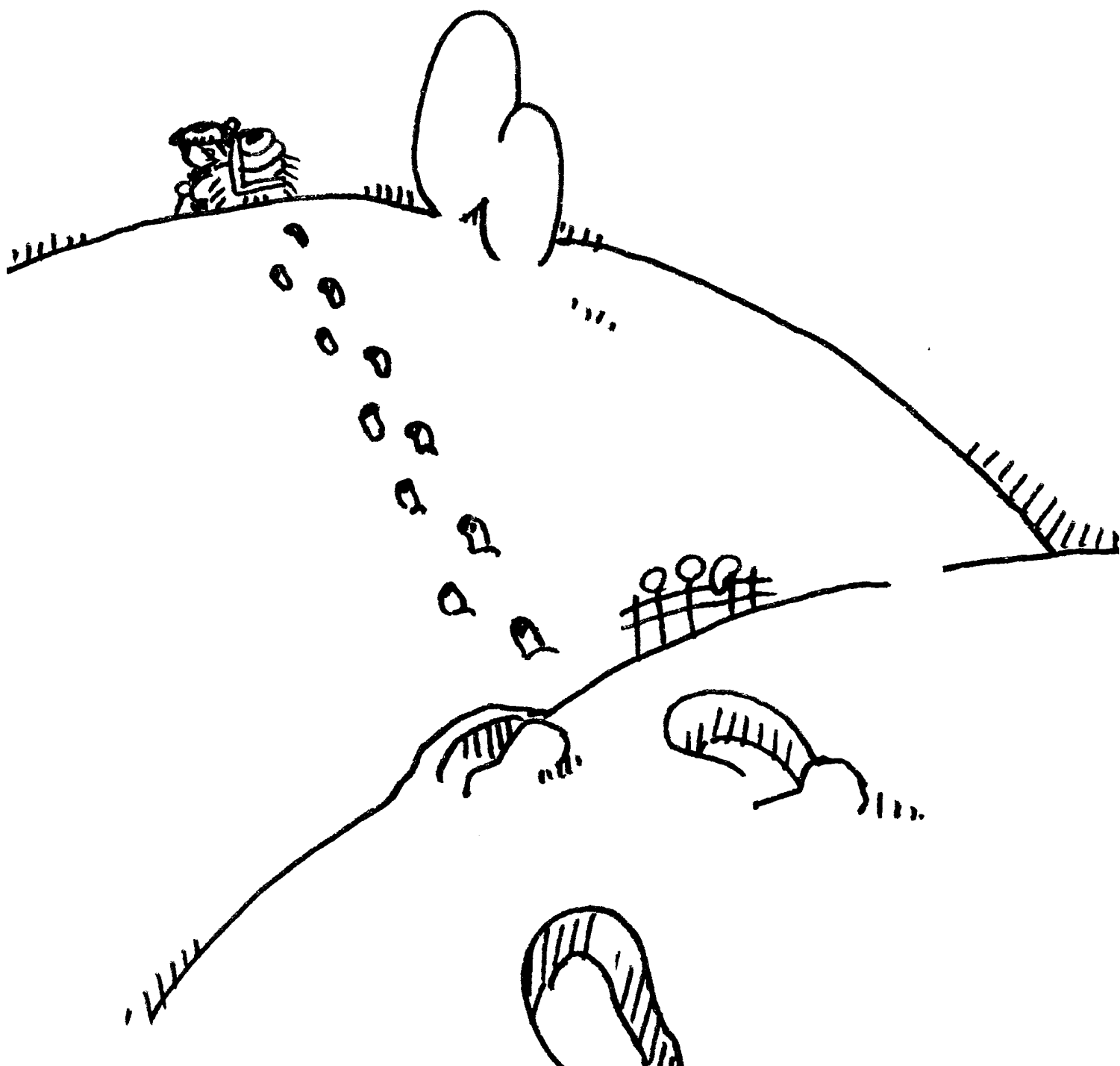
けれど、誰も買いませんでした。

もう夜です。おじいさんは、家に帰ります。

餅も野菜も買いませんでした。

たくさん、雪が降りました。とても寒いです。

おじいさんは、山の道を歩きました。



帰^{かえ}る道^{みち}におじぞうさんが六^{ろくにん}人いました。

頭^{あたま}には、雪^{ゆき}がたくさんついています。

おじいさんは言^いいました。

「おじぞうさん、寒^{さむ}いでしょう。冷^{つめ}たいでしょう。」

おじいさんは、おじぞうさんの肩^{かた}や背^せ中^{なか}の雪^{ゆき}をはらいました。



おじいさんは五^{いっ}つの笠^{かさ}を、おじぞうさんにあげました。

でも、おじぞうさんは六^{ろくにん}人います。

笠^{かさ}は五^{いっ}つです。

おじいさんは、自^{じぶん}分^{ぶん}のてぬぐいをあげました。

「これでいい。これでいい。」

そして、家^{いえ}に帰^{かえ}りました。



「おばあさん、ただいま。」

「おじいさん、お帰^{かえ}りなさい。」

「寒^{さむ}かったでしょう、おじいさん。笠^{かさ}は売^うれましたか。」

「いいえ、売^うれませんでした。」

それから、おじぞうさんと笠^{かさ}の^{はなし}話をしました。



おばあさんは、

「おじいさん、いいことをしましたね。」

「そうですか。」

そして、おじいさんはいろりにあたりました。



「^{ことし}今年は、お餅^{もち}がないお正月^{しょうがつ}だ。」

「おなか^ながすくから、もう寝^ねましょう。」

おじいさんとおばあさんは、夢^{ゆめ}の中^{なか}でお餅^{もち}をつきました。



「じよいやさ、じよいやさ。」

と声^{こえ}を聞^ききました。

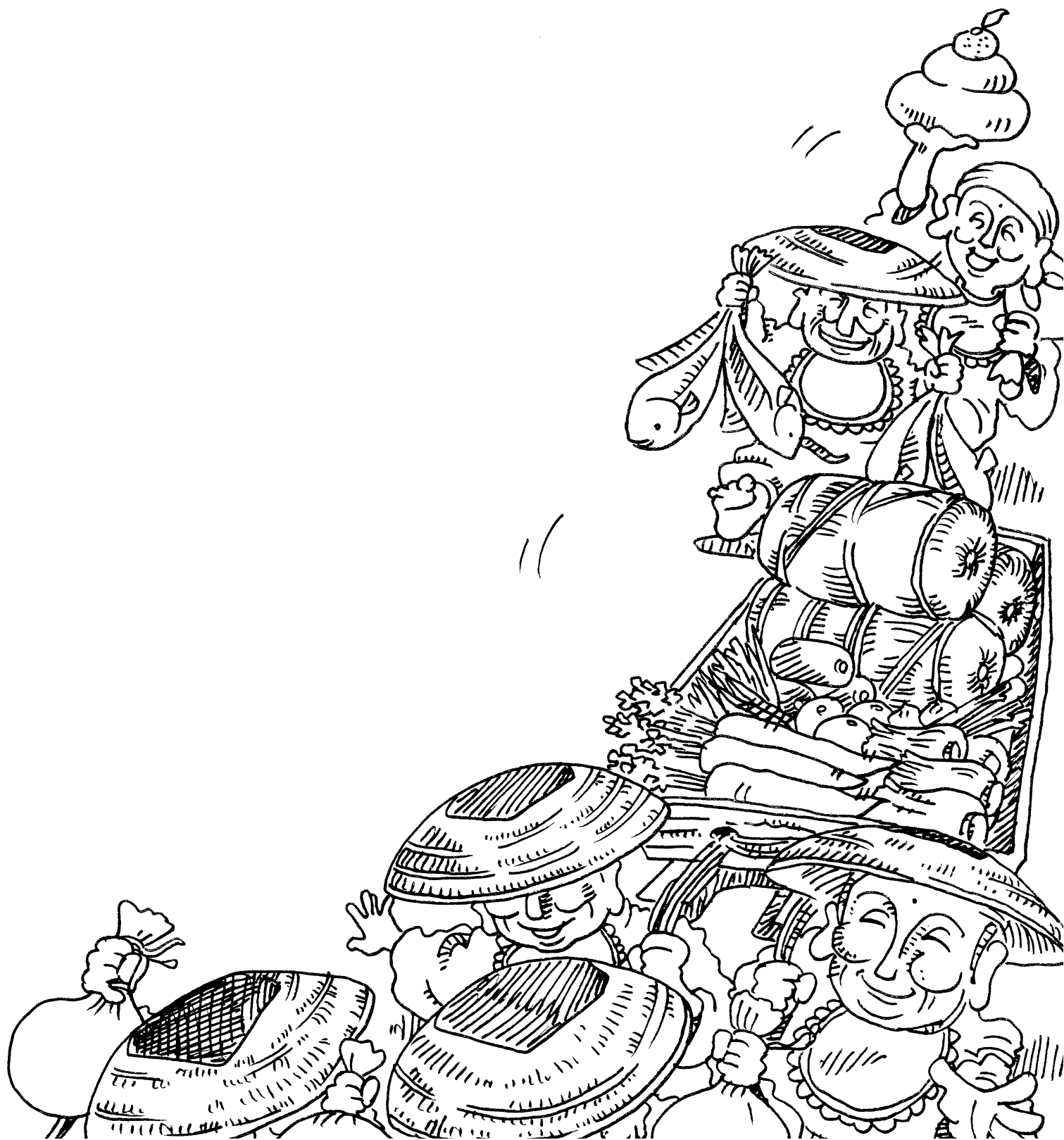
おじいさんとおばあさんは起^おきました。

「おばあさん、誰^{だれ}でしょう。」

誰^{だれ}かがそりを引^ひきます。

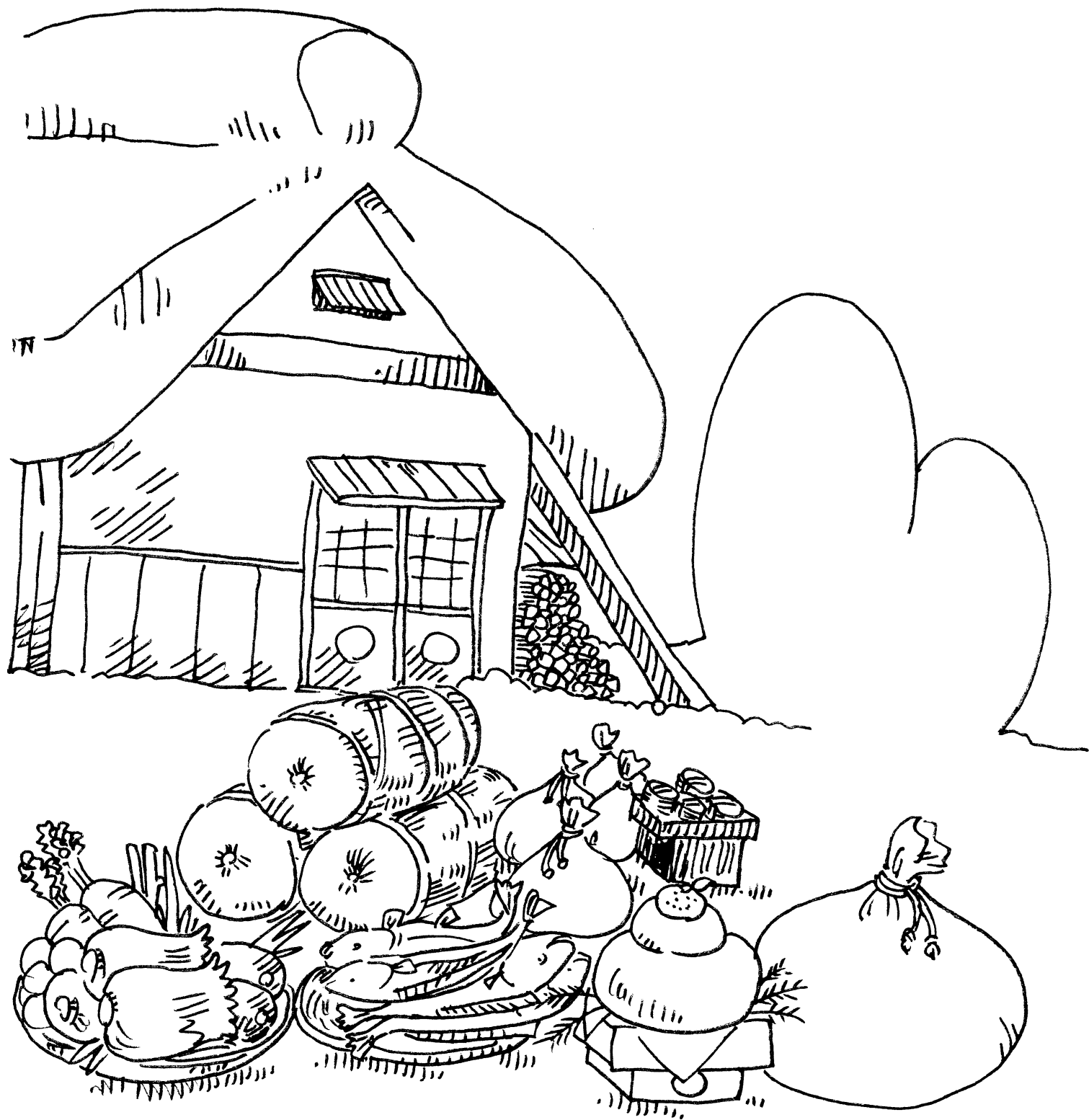
その声^{こえ}は、六^{ろく}人^{にん}のおじぞうさんです。

「笠^{かさ}のおじいさんはどこですか。おばあさんの家^{いえ}はどこですか。」



おじいさんの家の^{いえ}前で^{まえ}止^とまりました。

ずっさん、ずっさん。



おじいさんとおばあさんは外そとに出でました。

「じよいやさ、じよいやさ。」

おじぞうさんが帰かえります。

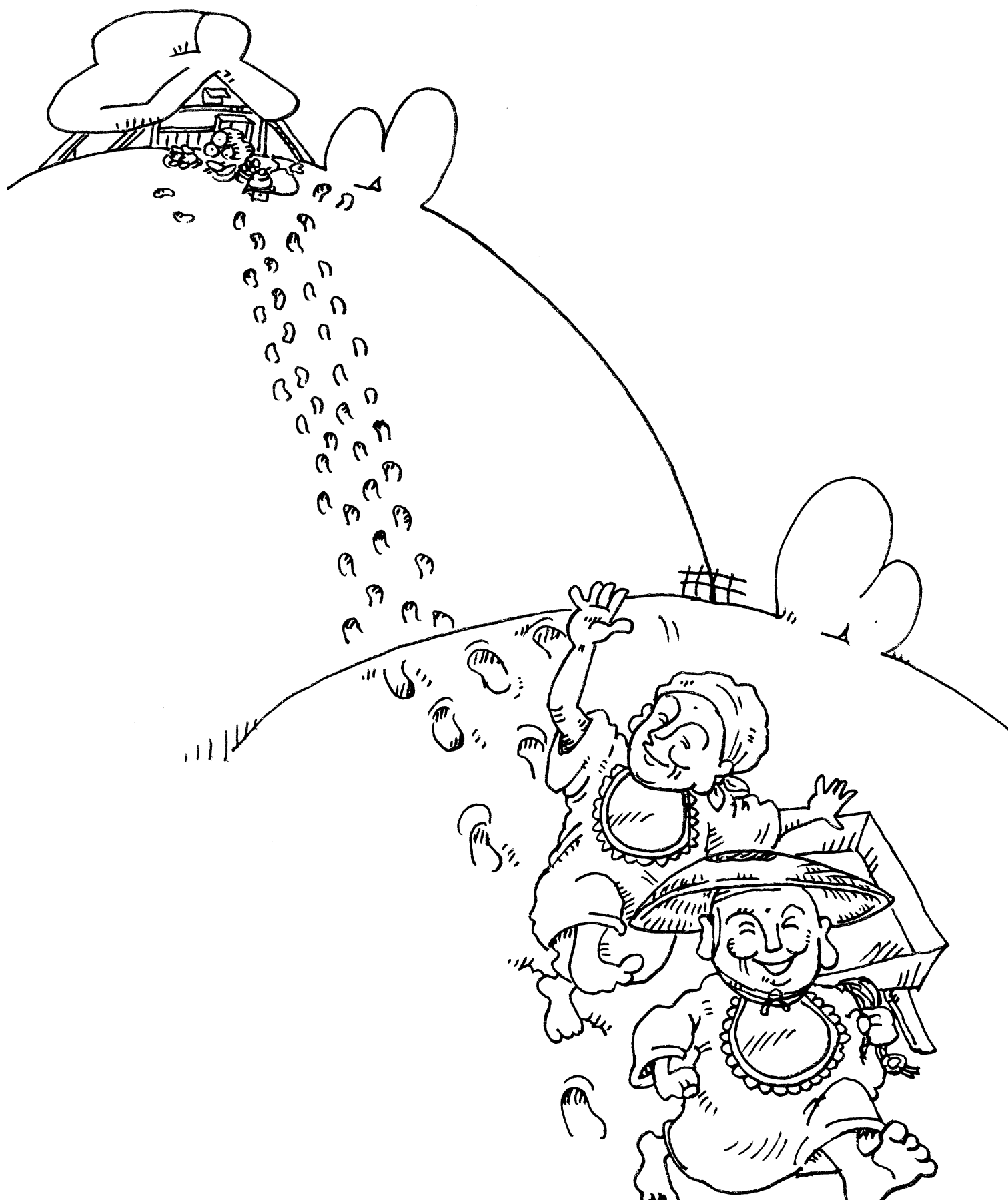
そこに、餅もちや米こめの俵たわらや、野菜やさいがたくさんありました。

おじいさんとおばあさんは、よいお正月しょうがつができました。

めでたし、めでたし。

よかったじゃん。





【レベルについて ～大人編～】

☐ 本書は、NPO多言語多読発行「にほんご多読ボックス」のレベルに基づいて作成されています。

☐ 学習者がレベルに応じて、楽にたくさん読めるように、語彙や文法を制限してあります。

☐ 下の表が、「にほんご多読ボックス」のレベルの詳細です。

レベル	語彙	字数/1話	主な文法項目
0 入門	350	～400	現在形、過去形、疑問詞、～たい など ※基本的に「です・ます体」を使っています。
1 初級前半	350	400 ～1500	現在形、過去形、疑問詞、～たい など ※基本的に「です・ます体」を使っています。
2 初級後半	500	1500 ～3000	辞書形、て形、ない形、た形、連体修飾、～と (条件)、～から(理由)、～なる、～のだ など
3 初中級	800	2500 ～6000	可能形、命令形、受身形、意向形、～とき、～たら・ば・なら、～そう(様態)、～よう(推量・比喻)、 複合動詞 など
4 中級	1300	5000 ～15000	使役形、使役受身形、～そう(伝聞)、～らしい、 ～はず、～もの、～ようにする／なる、ことにする ／なる など
5 中上級	2000	8000 ～25000	機能語・複合語・慣用表現・敬語など 例)～につれて、～わけにはいかない、切り開く／召し上がる、伺う

© NPO多言語多読については、ホームページをご覧ください。

<http://tadoku.org/> (「NPO多言語多読」でも検索できます。)

挿絵：上ノ内 智之
再話・監修：ジャボラNPO

